

佐那河内村立学校 業務量管理・健康確保措置実施計画（概要版）

デジタル化の進展など社会が急激に変化する中で、学校は今、**子どもたちが主体的で創造力豊かに次代を生きる力を育てるため、教育の質の向上に取り組んでいます。**このような状況の中、教師が教師でなければできない業務に集中し、子どもたち一人ひとりと深く向き合う時間を十分に確保するためには、これまでの働き方を見直し、**教育職員が健やかに生き生きと働きがいをもって、教育活動に取り組むことができる、持続可能な教育環境を整えることが強く求められています。**

1. 計画の目的

本計画は、教育職員の勤務状況を改善し、いきいきと児童生徒の教育に注力できるようにすることにより、**教育職員の働きやすさと働きがいを両立し、質の高い教育を実現すること**を目的としています。

教育職員の
勤務状況の改善

教育職員の
働きがい・
働きやすさの向上

より質の高い
教育の実現

2. 目標

本計画では、上記1の目的を達成するために下記の目標を設定しています。

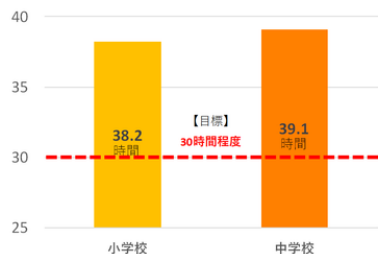
期間：令和8年度～令和11年度

- 1年間における**1か月時間外在校等時間の平均時間を30時間程度**にする。
- 1か月時間外在校等時間が**45時間以下の教育職員の割合を100%**にする。

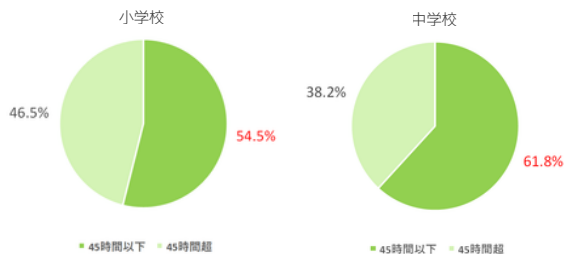
※「時間外在校等時間」とは一般的な残業時間を意味する。

● 佐那河内小中学校の現状（※数値は令和6年度）

(1) 1か月時間外在校等時間の平均時間



(2) 1か月時間外在校等時間が45時間以下の教育職員の割合



3. 具体的な取り組み内容（例）

教師が子どもたち一人ひとりと向き合う時間を創出するために、以下の具体策を講じます。

(1) 学習支援員等の配置

教師が授業に注力できるよう、村が独自で雇用する教育職員や学習支援員、ICT支援員等の配置を拡充することによって、教育職員の負担を軽減します。

(2) 電話対応時間の設定

電話対応時間を設定し、教材研究や授業準備の時間を創出します。

(3) 休暇取得等の促進

長期休業等の期間中に5日間以上の一斉閉校期間の設定を行うなど、教育職員がリフレッシュできる環境づくりを進めます。また、定時退校日を設けるなどして教育職員の時間外の勤務時間削減を促進します。

「業務量管理・健康確保措置実施計画」では、このほかにも様々な取り組み内容を定めています。詳しくは、右記のQRコードより村のホームページにアクセスし、計画をご覧ください。



地域・保護者の皆さま、関係機関の方々のご理解・ご支援が必要な取り組みとなります。ご協力いただけますよう、お願いいたします。

